

# 安養寺の宝篋印塔

あんようじのほうきょういんとう



文化財愛護シンボルマーク

名称	安養寺の宝篋印塔	時代	室町時代初期 15 世紀
別称	石造宝篋印塔、安養寺石造宝篋印塔、 安養寺の右塔	所在地	加古川市平岡町一色 24 番地
数量	1 基	所有者	安養寺
寸法	現高 132.0cm（基壇 - 相輪） 113.5cm（基礎 - 相輪）	指定	兵庫県指定文化財
材質	石造、花崗岩	指定分類	建造物
		指定名称	石造宝篋印塔
		指定年月日	昭和 50（1975）年 3 月 18 日



## [ 各部寸法 ]

相輪	現高 35.0cm
笠	高 27.5cm 幅 37.0cm
塔身	高 21.0cm 幅 21.5cm
基礎	高 30.0cm 幅 38.5cm
基壇	高 18.5cm 幅 59.5cm

安養寺の宝篋印塔

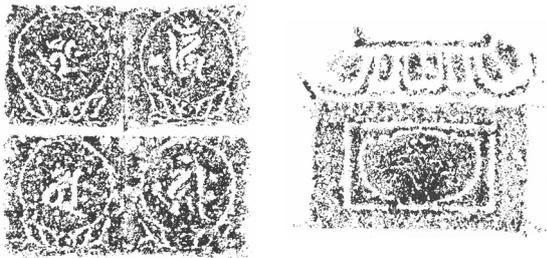
ひらおかちょういっしき

平岡町一色にある安養寺の門をくぐったすぐ右側に、3基の宝篋印塔が北を向いて建っています。このうち、左端と中央に建つ2基は室町時代のもので（通称「安養寺の左塔と右塔」）。今回取り上げる中央の塔（右塔）は、銘文がないため正確な造立年代はわかりませんが、ほぼ完存で、各部の様式や手法からみて3基のうちで最も古く、室町時代初期頃に造られたものと考えられています<sup>(1)</sup>。左端の塔（左塔）は、凝灰岩（竜山石）製で、基礎の正面に「永正十三年二月日」の銘が刻まれ、室町時代後期の永正14(1517)年に造られたことがわかります<sup>(2)</sup>。また、右端の1基は江戸時代中期の宝暦2(1752)年の銘文が刻まれたもので、隅飾が大きく反り返るなど、他の2基とは様式が異なっています。

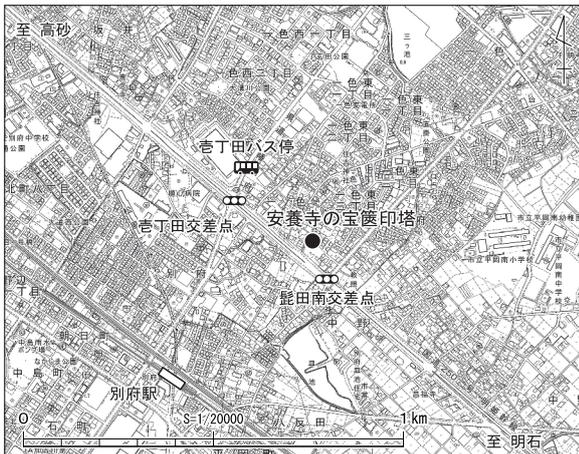
宝篋印塔は、鎌倉時代中期頃から造られはじめ、基礎、塔身、笠、相輪などからなる仏塔です。塔の名称は、内部に宝篋印陀羅尼の経文を納めたことに由来するといわれ、多くの場合は供養塔や墓塔として造立されました。

「安養寺の右塔」と呼ばれている本塔は、基壇の上に建てられており、すべて硬質石材である花崗岩で造られています。基壇は、各辺の上部に複弁三葉を配し、四隅にも複弁をあらわした反花座を設けています。

基礎は、各辺の上部に中央複弁一葉の左右に間弁を配し、四隅にも複弁をあらわした反花座を設けています。各側面には輪郭を巻き格狭間を入れ、東面の格狭間内だけに宝瓶三茎蓮を刻んでいます。三茎蓮は、中央の直立した茎に蕾



拓本 (左 / 塔身、右 / 基礎東面)



をあらわし、左右の二茎は開花表現とするのが一般的ですが、この基礎の三茎蓮はすべて開花表現となっており珍しいものです。

塔身は、各面に蓮華座付きの月輪を彫り、中に金剛界四

仏の種子を刻んでいます。種子の配置は、本来は東面がウーン (阿閼如来)、南面がタラク (宝生如来)、西面がキリク (阿弥陀如来)、北面がアク (不空成就如来) ですが、現在は北面にウーンがあり、本来の方角からはずれた配置となっています。こうしたことは後世の積直しなどの影響と考えられ、よく見られることです。

笠は、下二段上六段の定型式で、隅飾は二弧の輪郭を巻き、各面の内部は素面となっています。

相輪は、九輪の第八輪目より上を失っていますが、全て一石でつくられています。下の請花には複弁八葉が彫り出されています。

この塔は、相輪の宝珠を欠いている以外はほぼ完存していて、中世における加古川地域の石造文化の豊かさを物語る貴重な石造文化財といえます。また、時期の異なる3基の宝篋印塔が並んでいることで、各時期の特徴を比較することも魅力の一つといえるでしょう。

(拓本・寸法 / 『加古川市史 第七巻』より転載、文・写真 / 山中)

- 『加古川市史』では、この塔の年代を永正14年より遡ることはないと記していますが、本紙では『昭和49年度指定 兵庫県文化財調査報告書』に記載の年代観に従うこととします。
- 安養寺の左塔と右塔は、よく似た塔であるため混同されることが多く、『加古川市史 第七巻』の「第4章石造美術」の項で左塔を誤って「県指定文化財」と記述するなど、研究者の中でも誤認されていることがあります。また、『加古川市文化財図録』にて、「県指定14」として掲載している写真及び解説文についても左塔についてのもので、県指定文化財である右塔についてのものではありません。お詫びして訂正いたします。

●参考文献

- 『昭和49年度指定 兵庫県文化財調査報告書』兵庫県教育委員会 (1975年)
- 『加古川市史 第七巻』加古川市 (1985年)
- 『加古川市文化財図録』加古川市教育委員会 (1995年)
- キーワード / 花崗岩 宝瓶三茎蓮 金剛界四仏 種子
- 所在地 / 兵庫県加古川市平岡町一色 24番地
- 交通 / 山陽電車別府駅から徒歩12分。車の場合、加古川バイパス加古川東出口から南へ3km、国道250号線壺丁田交差点から東へ260m